

栄養ふくい



The Nutrition and Dietetics of Fukui

第 15 号

令和 8 年 3 月 26 日 発行

公益社団法人 福井県栄養士会

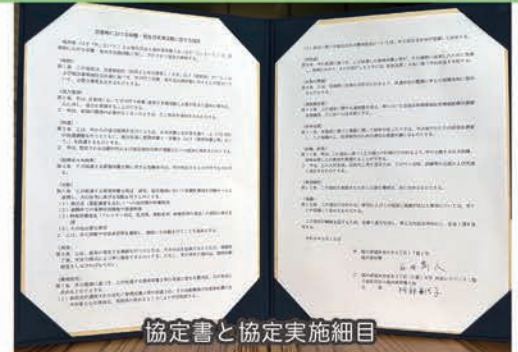
TEL・FAX / 0776 (27) 5999

E-Mail / fukuei@nifty.com

福井県と福井県栄養士会との 災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定締結式



令和8年3月19日(木)：災害時における栄養・食生活支援に関する福井県との協定締結式



石田知事と阿部会長・小寺副会長・中川理事との記念撮影

会長挨拶

会長 阿部 喜代子

社会情勢や栄養・食を取り巻く環境は、大きく、そして速いスピードで変化しています。こうした中で、管理栄養士・栄養士には専門職としての力がこれまで以上に求められ、私たちが向き合う課題も複雑化・多様化しています。多方面の現場でご活躍されている会員の皆様も、日々の業務の中でその変化を感じておられるのではないのでしょうか。令和 8 年度の診療報酬改定をはじめ、医療・福祉（子どもや高齢者）・教育・地域・行政など、さまざまな分野で制度の見直しや役割の変化が続いています。こうした動きを理解し、現場や地域の実情に応じた支援を実践していくためには、正確な情報を共有しながら学び続け、専門性を高めていくことが大切です。専門職である私たちが職能団体である栄養士会とつながり、連携していくことは大きな力になります。これからの時代において、栄養士会の存在はますます重要になっていくものと思います。

また、日本各地や世界で災害が頻発する中、当会では福井県と災害時の栄養・食支援に関する協定を締結

しました。災害時においても、栄養の視点から地域を支える体制づくりに向けた活動を進めてまいります。

今後とも、会員の皆様とともに学びあい、健康を支え、地域社会に貢献できる栄養士会を目指してまいります。

福井県栄養士会の目指すもの 4 本柱

① 会員が主体的に関わる栄養士会づくり

理事だけでなく、会員一人ひとりが主体的に関わり、活動に参加できる会を目指します。

② 分野を越えたネットワークづくり

医療・福祉・教育・地域・行政など、さまざまな分野で活動する会員がつながり、学び合える関係づくりを進めます。

③ 次世代を担う人材の育成

若手会員の参加を促しながら、将来の担い手となる人材の育成に取り組みます。

④ 会員参加型の企画・研修の推進→「福井県栄養士会 会員参加型企画研修チーム」の立ち上げ

会員の声や現場のニーズを大切に、参加型の企画や研修を通じて、実践に役立つ学びの場をつくります。会員の皆様、どうぞ、チームへの参加にお声を上げてください!!

福井県栄養士会 栄養施策

ライフステージごとにそれぞれの施策を講じております。



妊産婦・乳幼児

妊産婦・乳幼児期は母子の健康を守り、安全な出産と育児に備える重要な時期です。

妊産婦には葉酸や鉄分の摂取、適切な体重管理、母乳分泌を促す指導が求められます。

また、乳幼児期には健やかな成長と発達を支えるため、適切な離乳食や食育を通じて、親子で健全な食習慣を育む支援が必要です。



学 童 児

学童児期では身体が成長・発達する大切な時期であり、食に関する正しい習慣や知識を身に着けていくことが重要です。

給食を教材として活用し、児童生徒に豊かな食経験を提供すること、個別性の高い事例へのきめ細やかな相談指導を実施することが求められます。



成 人（青壮年期・中年期）

成人の青年期は10代～20代後半頃までを指し、女性の慢性的なやせは将来の健康に大きな影響を及ぼすため、健康意識を高める啓発活動が必要です。

男性においては、脂質や糖質、そして塩分の過剰摂取が問題となっており、野菜摂取の低下による食物繊維不足やアルコールの過剰摂取も懸念されています。

本人が実践できる支援策の提案が求められています。



高 齢 者

高齢期では、低栄養（フレイル・サルコペニア）が問題となっています。高齢者の場合、一度痩せると体重が非常に戻りにくいので痩せないことが大切になってきます。

摂食嚥下など機能の問題、買いものや調理などの食事確保などの課題が多数あり、支援が必要です。



傷 病 者

傷病者では、健診受診率の向上により、生活習慣病やがんの早期発見を促し、重症化を防ぐ取り組みが進められています。

怪我や病気からの早期回復を目指した栄養管理や、摂食・嚥下機能が低下した方への食事調整が必要です。

さらに医療や福祉と連携し、QOLの向上を目指した途切れることのない栄養支援が必要です。



被 災 者

被災者では、災害などで生活環境が変わり、知らないうちに栄養が偏ることがあります。様々なストレスを抱えている方々に寄り添った支援が必要です。

これらの栄養施策に基づいて会の活動を行っております。

新設

災害支援事業部

福井県栄養士会 定款施行規則第6章 事業部に「災害支援事業部」を新設し、福井県栄養士会災害支援チーム(JDA-DATふくい)の活動やスタッフ育成など災害支援に関する業務を担当します。

※ 関連記事は7ページに記載。



講師：杉山 みち子 先生

日本健康・栄養システム学会専務理事
神奈川県立保健福祉大学名誉教授

令和7年5月31日に、福井県国際交流会館において、令和7年度 公益社団法人福井県栄養士会定時総会を開催しました。阿部会長の挨拶につづき、ご来賓の福井県副知事 鷲頭美央様、仁愛大学副学長 伊藤知之様よりご祝辞を賜りました。

特別講演においては、日本健康・栄養システム学会専務理事、神奈川県立保健福祉大学名誉教授 杉山みち子先生より「これからの栄養ケア・マネジメントの実装」～これまでを振り返りつつ～と題してご講演をいただきました。医療介護及び障害福祉サービスにおける4半世紀にわたる栄養ケア・マネジメントに関する研究や成果について解説いただき、これらの成果を根拠とした診療報酬等の各種制度やその実務について話されました。今まさに、栄養ケア・マネジメントによって利用者主体の栄養ケア業務を担う管理栄養士に向けて、尊敬できる先輩をみつけてついていき、ケア現場の問題への対応に積極的に取り組むことが、これからのプロフェッショナルへ繋がるのだと熱く語られました。

新人交流会



新人交流会では、今年度入会した新しい仲間がつどい、栄養士会は何のために、どのようなことをしているのか？を理事から説明しました。また、管理栄養士として働き始めた感想や、大学で学んだことと現場のギャップをどう感じたかなど、自由に和気あいあいと話合う場を設け、今後の成長に欠かせない横のつながりを支援しました。

賛助会員の皆様による展示

総会の合間には、賛助会員の皆様に展示をしていただいております。今年は、大塚製薬株式会社、株式会社明治、株式会社ヤクルト北陸、株式会社サン食品、株式会社フーディーの皆様より、商品の説明や試飲などが実施されました。



令和7年度 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰

栄養改善事業功労者 小寺 由美

栄養指導業務功労者 阪下 光代

特定給食施設 市立敦賀病院

医療法人 福井愛育病院



令和7年度 公益社団法人 日本栄養士会会長表彰

栄養橋寿会員表彰 清水 瑠美子

25年等業務貢献者 竹田 邦恵、田辺 五十鈴、橋本 貴子、
(五十音順) 林 千賀、本田 多起子



令和7年10月24日
日本栄養士会創立80周年記念・全国栄養改善大会
における表彰授与式の際の記念撮影

生涯教育研修会（実務研修）

管理栄養士・栄養士は、常に新しい情報を自分で取り入れていく必要があります。当会では卒後教育を支援し、標準的な栄養の指導が行える管理栄養士・栄養士のスキルアップのためにこの研修会を行っております。今年度は、全 10 回にわたり栄養施策に準じた内容で行いました。

嚥下調整食リーフレットを使いこなそう

福井県食品加工研究所 主任研究員 五十嵐 めぐみ 氏

- ①とろみ剤を知る、コード分類を体感する 7月23日(木), 7月26日(土) 福井県食品加工研究所及び仁愛大学
②嚥下調整食コトハジメ、ゲル化剤を知る 9月24日(木), 9月27日(土) 福井県食品加工研究所及び仁愛大学



担当した山田理事からのコメント

この研修会は今年度唯一の集合型で、2回シリーズで開催しました。

オンライン研修に慣れている会員の皆さんには、試食・体験ができる集合型の研修会はわかりやすく満足だったとの声も聞かれ、魅力的であったと思います。

生体応答(代謝)の研究成果を栄養管理に繋げる

8月2日(土)



静岡県立大学 食品栄養科学部
臨床栄養管理研究室

教授 新井 英一 先生

担当した山本理事からのコメント

日常の「なぜ?」という疑問点を出発点に、生体の代謝反応を捉える実践研究に取り組みながら、その成果を栄養管理に繋げることが重要です。

個別指導のためのデータ活用

8月17日(日)



石川県栄養士会
副会長

北出 宏予 先生

担当した黒羽根理事からのコメント

食に関する課題を抱える児童生徒の個別的な相談指導について、成長曲線・肥満度曲線などの身体データを活用した指導方法をお話いただきました。知見を積み重ねていくことが大切であり、今回の学びを生かし、県内の栄養教諭が個別的な相談指導に少しでも取り組みやすくなるよう、実践をまとめていきたいと思います。

栄養ケア・マネジメントのプロセス評価

9月21日(日)



十文字学園女子大学
人間生活学部 食品栄養学科

准教授 高田 健人 先生

担当した石川理事からのコメント

現在、65歳以上の高齢者は2040年ごろにピークを迎えると予測されており、医療介護の複合サービスのニーズが増え、現役世代が急速に減少しています。栄養ケア・マネジメントが制度化されたことにより、病院や、施設だけでなく地域にも広がっています。

多職種と連携し、口から食べる楽しみを充実させる支援が重要です。

ナッジと食行動変容 ~健康無関心層を含めたすべての人々にアプローチするために~

10月4日(土)



女子栄養大学 栄養学部

教授 林 芙美 先生

担当した浦上理事からのコメント

健康日本 21(第三次)が掲げる「誰一人取り残さない健康づくり」と、健康行動を自然に選べる環境づくりであるナッジの重要性を学びました。

研修では具体例を通して、ナッジが食行動の変容にどう役立つかを理解し、関心の低い層にも“楽しさや美味しさ”を通じて健康行動が促されるよう、自然に行動が起こる工夫を考えていくことが求められます。



福井県こども療育センター
医師 川谷 正男 先生

担当した上嶋理事からのコメント

発達障がいは、同じ診断名でもその特徴は十人十色であり、発達障がいの特性によって食事の問題もさまざま、合理的配慮をどうするかが重要です。観察し、環境を整え、穏やかに、簡潔に、具体的な行動をほめて、スモールステップでよい行動を増やしていきましょう。



東京農業大学 応用生物科学部
栄養科学科
教授 多田 由紀 先生

担当した渡辺理事からのコメント

乳幼児期は食習慣の基礎を作る重要な時期であり、特に1歳半～3歳までの関わりが将来に大きく影響します。子供と保護者への食育支援により、より良い食生活に繋がっていきます。保育所や市町などに食育支援ができる管理栄養士・栄養士が必要です。

第13回 栄養管理・食育研究会

令和7年11月16日(日)

* 今回、賛助会員の株式会社サン食品様にご共催いただき、盛大に開催することが出来ました。

特別講演

『若年女性の食・生活習慣の課題と妊娠期の栄養について』



千葉県立保健医療大学
健康科学部 栄養学科
教授 谷内 洋子 先生



担当した大久保理事からのコメント

女性のやせ願望、特に若年女性の低体重・低栄養は日本特有の課題であり、本人の健康だけでなく次世代にも影響します。妊娠前からの食教育やライフステージに応じた支援が重要で、管理栄養士はプレコンセプションケアの担い手として、食生活指針を活用しながら長期的視点で支援していく必要があります。

一般演題

10名の先生方が、それぞれ取り組まれたことを発表しました。



坂井地域包括ケアシステムにおける栄養・食生活支援に向けた取り組み
福井県坂井健康福祉センター 倉内 美奈 氏



リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の算定について
織田病院 久守 勘司 氏



高齢者施設でクックフリーズの食事提供を行うメリット、デメリット
驚巢苑 石川 仁子 氏



高度栄養不良患者の栄養管理に関する当院の取り組みとその効果について
福井県済生会病院 朝井 悠花 氏



学校給食の中での非常食体験と親子炊き出し訓練について
南越前町立今庄小学校 治部 香代子 氏



診断時から緩和ケアチームが介入した事例について
福井県立病院 田中 幸知恵 氏



認定こども園での食育の取り組みについて
さみどり保育園/日本ミール株式会社 高橋 マミ 氏



外来栄養食事指導継続中に高齢糖尿病患者の血糖コントロール悪化を「訪問支援」により食い止めた経験
JCHO福井勝山病院 山田 友香 氏



SCUにおける早期栄養介入管理加算導入の効果検討と課題
福井赤十字病院 林 敬之 氏



当院の栄養情報連携の運用と現状について
社会医療法人 財団 中村病院 小林 香織 氏

参加者同士で情報共有できる時間を設け、それぞれが聞きたいことを確認しあえ、良かったとの声が多く聞かれました。



令和7年度 在宅栄養管理指導研修センター運営委託事業研修会

1 回目 令和7年12月5日(金)



愛知学院大学
健康科学部
健康科学科
教授
牧野 日和先生

「緩和ケアでの食事の実際」～在宅療養者の食の実情と他職種連携～

施設や病院では多くの対象者に栄養マネジメントを行い対応していると思います。しかし自宅に戻るとどのような食生活を送っているのか把握することがほぼできません。

施設や病院で体調が戻っても、自宅に戻るとすぐに体調を崩してしまう。そんなモヤモヤを抱えている管理栄養士は少なくないと思います。

先生自身が親の看取りを行った体験や御食い締めの内容、ご本人の思いと家族の思いを尊重しながら安全性を確保し、他職種で連携して食べることを支援する取り組みなどを学びました。

2 回目 令和8年1月22日(休)



①
医療法人かがやき
総合在宅医療かがやき
総合医療クリニック
理事長
市橋 亮一先生



②
医療法人かがやき
総合在宅医療かがやき
総合医療クリニック
管理栄養士
安田 和代先生

①「在宅医療の実情とチーム医療について」

～医師からみる管理栄養士の存在～

②「管理栄養士の訪問栄養指導の実際」

在宅医療の専門クリニックとして、岐阜県下2か所と名古屋市で開設されている市橋先生より、再入院予防の重要性と現在のプログラムにおける教育や指導においては、特に栄養・食事の力と果たす役割が大きいにも関わらず在宅での栄養管理は不十分でありできない現状であることを話されました。「世に足りないものを提供する」という理念のもと、栄養のチームを立ち上げ、在宅での栄養指導を開始された経緯などを紹介していただきました。

また、管理栄養士の安田氏からは、市橋先生のお考えを基盤に、退院時の病院でのカンファレンスから介入を開始すること、食事・栄養面の支援（家族や介護者支援も含む）と栄養管理をそれぞれに組み合わせた、対象者に最適な方法と内容を実践されていることが報告されました。病院の管理栄養士の栄養指導では、時に対象者の実情に十分に寄り添えていないと感じられる場合もあり、そのため、まずは情報収集とアセスメントを重視し、食事の形態や嗜好や食事の現状などの「何を」、体重や体重の変化などを含めた栄養摂取量などのおおよその目安など「どれだけ」、家族や家庭環境など在宅状況や対象者の口腔機能などの「どのように」の3項目を軸に評価を行っているとのことでした。また、介入された新規件数や年間件数、算定状況などのデータも示されて、今後の取り組みをさらに進めていくことへの抱負も語っていただきました。

3 回目 令和8年1月27日(火)



①
機能強化型認定
栄養ケア・ステーション
ちょぼ
管理栄養士
桑原 理江先生



②
機能強化型認定
栄養ケア・ステーション
なる
管理栄養士
杉本 尚子先生

「静岡県での在宅栄養管理の実際」

お二人の管理栄養士の先生方は、静岡県栄養士会の機能強化型認定栄養ケア・ステーションの資格を取得され、在宅での栄養管理に取り組まれています。

桑原氏は、2016年頃より、食や栄養に関する知識が十分でない人が多い現状や、在宅患者への栄養支援が行われていないことに課題を感じ、活動を検討し始めたといいます。活動を進めるうえで「信用が第一」と考え、2020年に静岡県栄養士会の認定を取得し、栄養ケア・ステーションとして多方面からの依頼に対応されてきました。2021年10月には機能強化型へ移行し、在宅栄養管理の活動も本格的に開始されました。栄養の重要性を伝えるため、他職種への周知や管理栄養士から管理栄養士へとつなげていくことの必要性も重視し、在宅栄養による支援に力を注いでおられます。

杉本氏は、まず、全国的な在宅療養の現状をAIの分析であることを前置きされたうえで、静岡県や福井県を含むデータを提示されました。また、これまでの職歴における栄養業務や在宅栄養への関りを背景に、2022年に静岡県栄養士会の認定栄養ケアステを立ち上げるに至った経緯について話され、2023年には機能強化型認定ケアステを取得し、医療機関・クリニックでの外来や在宅の栄養指導に加え、2024年からは栄養ケアステとしての介入が可能となったことを受けて、緩和ケア専門医からの依頼への対応も開始されました。通所利用時の食事への配慮、病院とは異なる在宅での栄養管理、施設や在宅との連携といった課題がある中で、今できる事を精一杯考えながら、地域の現状やニーズを把握し、対象者やご家族の栄養・食生活の課題に向き合いながら、地域と個人をつなぐ役割を果たしていきたいと力強く述べられました。

福井県栄養士会災害支援チーム(JDA-DATふくい) 情報交換会

令和7年12月20日(土) 福井県教育センター 大ホール(集合型研修)

JDA-DATスタッフ、福井県行政栄養士および市町行政栄養士が合同で災害に備えた情報交換会を開催しました。研修後には4医療圏に分かれて情報交換を行い、備蓄の保管場所や要配慮者の把握など災害時の情報を知る貴重な時間となりました。

● 福井県地域防災計画と支援体制について

福井県健康福祉部健康医療局健康政策課

企画主査 森川 渚氏

● 市町における地域防災計画と受援体制について

勝山市 管理栄養士 中川 真樹子氏

おおい町 管理栄養士 福島 順子氏

● 福井県栄養士会災害対策委員会の設置とJDA-DATふくいの運営について

福井県栄養士会 理事 松島 和代氏

● 災害時における特殊栄養食品について

大塚製薬株式会社

情報交換会(4医療圏別)

* ファシリテーター

福井県健康福祉センター 管理栄養士

西尾 裕子氏 / 倉内 美奈氏 /

浦上 泰子氏 / 宮内 梨沙氏



「第21回 日本栄養改善学会 北陸支部学術総会 IN 福井」が、

令和8年2月22日(日)に、福井県栄養士会の阿部会長が学術総会会長として、福井商工会議所にて会場参加およびオンラインで開催！約7年ぶりの対面型開催となり、北陸3県から100名を超える参加者となりました。

特別講演では、「管理栄養士が発信する実践知と災害からの学び」と題し、恵寿総合病院の小蔵要司先生にご講演いただき、日々の栄養ケアやベッドサイドでの実践から得られる気づきが、どのように支援につながっていくのか、また、災害時などの困難な状況下においても生かされる栄養の力について、大変示唆に富んだ内容となりました。基礎講座は今回で2回目となり、「調査研究における基礎的な事項」として、日常業務から調査や研究を始める際に知っておきたいポイントについて、仁愛大学の三浦努先生にわかりやすくご解説いただきました。

一般演題プログラム 全演題9題の発表のうち福井県からは、「生成AIによる学生の栄養学・生命科学研究論文の精読支援」尼子 克己氏(仁愛大学)、「デイサービス利用者の身体・体力測定、手段的日常生活動作の調査について～継続的な健康支援と域学連携をめざして～」山本 浩範氏(仁愛大学)、「外来栄養食事指導継続中に高齢糖尿病患者の血糖コントロール悪化を「訪問支援」により食い止めた経験」山田 友香氏(JCHO 福井勝山総合病院)、「当院における栄養情報連携の運用と現状」小林 香織氏(社会医療法人 財団 中村病院)の4演題の発表でした。

* 次回は石川県が担当県となりますので、会員の皆様、ぜひご参加を！ぜひご発表を！





年末懇親会

12月20日(土) ザ・グランユアーズフクイ

昨年に引き続き、会員の皆様に多数ご参加いただき、年末懇親会を開催しました。

鷺頭副知事をはじめご来賓の方々、賛助会員の皆様とも懇談し、スライドショーで当会の令和7年の活動を紹介した後は、抽選会で盛り上がり、会員同士の会話が弾む楽しい時間となりました。来年度もより多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



ホームページリニューアルのご案内

福井県栄養士会のHPがリニューアル! さらに見やすく使いやすくなりました。スマホでの操作がより簡単になり、各種コンテンツも充実しています。栄養士会の開催する研修会がひと目でわかる、手続きがスムーズになるなど、盛り沢山! ぜひこの機会にご覧ください。会員向けコンテンツとして、県内の無料職業紹介も行っています。

- ① スマホでの操作がより簡単に!
- ② 各種コンテンツの充実!
- ③ 研修会の内容がひと目でわかる!
- ④ 手続きがよりスムーズに!
- ⑤ 会員限定 職業無料紹介!

新ホームページはこちらから! >

福井県 栄養士会

<https://fukuieiyousikai.movabletype.io>





産学官等連携・協働で省塩に取り組む

ふくい省塩プロジェクト

「ふくい省塩プロジェクト」に福井県栄養士会も参画しています。



賛助会員のPRコーナー

ラインナップ強化中!!!

完調品に

お任せください!!!



時短調理



人手不足解消



三陸産サーモン
マヨフライ



若鶏の南蛮風
甘酢唐揚げ

fain foods
Sun 株式会社サン食品

健康にアイデアを

meiji



株式会社明治 医療・介護関係者向け専門情報サイトのご紹介

医療・介護関係者の方へ向けた専門情報サイト

meiji Nutrition Info



普段の食事に足す! ミニゼリーで足りない栄養素をタス!

ミニタス

少量・高密度
ゼリー



ミニタスたんぱく質ゼリーに
パイン味が追加!



エネルギー100kcal

MCTオイル
6g配合

りんご味

ミニタス
エネルギー100kcal
りんご味 (無果汁)

いちご味

ミニタス
エネルギー100kcal
いちご味 (無果汁)

食物繊維7g
PHGG(クア-ガム分解物)
1g配合 (濃縮糖液のうり)

たんぱく質5g
コラーゲンペプチド
5g配合

NEW!

パイン味

マスカット味

ミニタス
エネルギー100kcal
マスカット味 (無果汁)

ヨーグルト味

ミニタス
エネルギー100kcal
ヨーグルト味 (無果汁)

もも味

ミニタス
エネルギー100kcal
もも味 (無果汁)

オレンジ味

ミニタス
エネルギー100kcal
オレンジ味 (無果汁)

ミニタス
たんぱく質5g
パイン味 (無果汁)

甘酸っぱく
ジューシーな
味わいです

賛助会員広告



ACOZ 株式会社アコス

FOOD COMMUNICATION

Eat Well, Live Well.



AJINOMOTO

賛助会員広告

アストリション

株式会社アストリション
〒919-0515 福井県坂井市坂井町若宮 3-2-13
0120-663-345
<https://athtrition.com/>



スクスクサイズ ジュニアプロテイン

株式会社 石川コンピュータ・センター

お問い合わせ先：076-268-8315



栄養管理システム
Lifli 栄養 Hi

伊那食品工業株式会社

様々な料理のくっつきを防止する素材

くっつかないで

こんな時にお役立てください！

麺がくっついて取り分けにくい
混ぜご飯が混ぜにくく色ムラができる



イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務請負
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員)

本社 〒553-0003 大阪市福島区福島七丁目15番26号
福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
TEL (0776) 97-8156 / FAX (0776) 97-8157
ホームページ <http://www.ifsco-hc.co.jp>

**「伝えたい」が「伝わる」
栄養指導フードモデル**

いwasakiグループ
お問い合せ
ご注文は
こちらまで

0120-198-953
〒920-0848 金沢市京町32-22
株式会社いwasaki 金沢営業所
TEL: 076-251-1418

**偏りがちな栄養を
バランスよく
手軽に補給**

GloryMate

POINT 01 5大栄養素が
バランスよく摂れる

POINT 02 ビタミンは1日に
必要な量の約半分！

POINT 03 カロリー計算が簡単
1袋(21g) 200kcal

POINT 04 食が盛まない時にも
飲みやすい

尾家産業株式会社

KiOla 株式会社 キッチンプラント

福井県福井市高木中央2丁目3405番地5
TEL(0776)54-5656 FAX(0776)54-3841
URL:<https://kitchen-plant.com/>



●業務用カット野菜&青果卸販売●

光陽青果 株式会社
Fruit and Vegetable Dealer

〒910-0836 福井県福井市大和田1丁目101番地
TEL 0776-53-1177 FAX 0776-53-5224
<http://www.koyo-seika.com/>

業務用総合食品問屋

塩田食品株式会社

本社 〒918-8578 福井市円山1丁目405
TEL: 0776-54-6767 FAX: 0776-54-6633

支店 〒914-0053 敦賀市舞崎町2丁目19-4
TEL: 0770-25-1155 FAX: 0770-25-1239

高齢者専門宅配弁当

宅配クック123

厚生労働省「配食ガイドライン」に基づき
「たんぱく質量」が担保されたお食事を
「食べ切れる量」でお届けします。

福井県 宅配クック123

不要な羽毛ふとんは
ありませんか？

東洋羽毛が無料でお引取りします

東洋羽毛は、不燃羽毛ふとんの
引取りを目的とした
SDGs(持続可能な開発目標)の
活動に取り組んでいます。

TUK Link Project

不燃羽毛ふとん
回収
資源活用
リサイクル材
環境貢献

東洋羽毛株式会社 北陸営業所
〒021-8066 石川県金沢市丸太3丁目270 TEL 0120-366-021

贊助會員廣告

業務・給食用食品

First FOODS GROUP CHEF
シェフ

Sun fain foods 株式会社サン食品

☎918-8161 福井市銚ヶ崎町25-58
TEL (0776) 38-3830番(代)
FAX (0776) 38-2985番
URL ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp>
E-mail ◎メール info@sunsyokuhin.co.jp

食生活の多様化に対応した
「食文化のコーディネーター」

全国を網羅した販売網を基盤として、
安全で衛生的な先進のシステムや機器の提供を
NAKANISHI は率先して行います。



病院・高齢者福祉施設のお食事のことならお任せください
お食事を通じてご高齢者の皆さまに生きる喜びを



ナリコマエンタープライズ

金沢営業所
〒920-0848 石川県金沢市京町35-31
TEL.076-255-3810 FAX.076-255-3820


 NISSHIN
oillio 日清オイリオ
 “植物のチカラ。”

安全な食品作りは調理器具選びから

HACCP に沿った異物混入対策・食中毒対策は万全ですか？
ハセガワは調理器具で衛生管理をサポートします



代表取締役 畑中 優子

〒918-8239 福井市成和 1 丁目 906
TEL:0776-24-1477 FAX:0776-22-3268

食を通じて豊かな生活に貢献する

(株)フーディー (給食食材卸)
(株)ファインミール (食堂経営・給食サービス)

住所：金沢市西念4-16-1 TEL：076-233-1610

ミタスグループのメディカル専門人材派遣会社



株式会社フォーカル・トラスト

Focal Trust

労働者派遣事業 派18-300071 有料職業紹介事業 18-コ-300061

明治 **メイバランス** Miniカップ

乳製品乳類飲料(殺菌)



健康にアイデアを
meiji

明治 **メイバランス** Miniカップ

乳酸菌 シロタ株が

高菌数
高密 度



Yakult.

乳酸菌 シロタ株が
1本(100ml)あたり
1,000億個

※ヤクルトレディがお届けしています。

(株) ヤクルト北陸 福井本社

【お申し込み・お問い合わせ】 ☎ 0120-1-8960-3

福井県栄養士会 会員募集と会費のお知らせ

《 会 / 員 / 募 / 集 》

「管理栄養士・栄養士は職場で私ひとり…」
そんな寂しさ、感じていませんか？

もしそうなら、**ぜひご入会ください！**

ここには、あなたと同じ志を持つ

たくさんの仲間がいます。



所属するメリットは？

仲間とのつながり

職場の悩みや成功体験を共有し、
業務のヒントが得られる！
全く違う環境で働く仲間から、
新しい発見やアイデアが生まれる！

視野と活動の場が広がる！

他の職場の取り組みを知り、
自分の成長につなげられる！
つながりを通じて、
新たなプロジェクトに
挑戦するチャンスが！

《 会費のお知らせ 》

	既 会 員	新 会 員 (再入会含む)
福井県栄養士会入会金	—	1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合 計	14,500円	15,500円

会費納入方法

- 新規・再入会の場合は、下記指定の窓口へ会費を送金後、申込書に必要事項を明記し、振込証を入会申込書の添付箇所に貼付して、栄養士会事務局にFAX、あるいは郵送ください。
- 入会継続の場合は、原則としてコンビニ収納となりますので、送付されてきたはがきをご利用ください。期限に間に合わない場合などは、指定の口座に送金ください。

※ 3月頃、ハガキが送付されます。忘れずに納入しましょう。

振込先：① 郵便局：00760-1-29715 ② 福井銀行 本店：0715691

入会申込書、登録内容変更はこちらから

申込書に必要事項を入力し、職域・勤務先（またはフリーランス）を必ずご記入ください。



勤務先や所属が変更となった場合は、左の二次元コードから各自で変更してください。

福井県栄養士会に入会すると、日本栄養士会にも同時に所属出来ます！



入会のメリット

最新情報をお届け！

全会員に「日本栄養士会雑誌」を毎月お届け。入会すればバックナンバーをWeb上で読むことができます。また、ホームページでは、お知らせや最新ニュースだけでなく、会員限定の指導用媒体やマニュアルも公開。楽しいイベント情報も配信します。

多彩な研修会

年間約300の研修会が、会員価格で受講可能！幅広い研修会をリアルとオンライン両方で開催しています。

キャリアアップ支援

働く職場・業務内容に合わせたキャリアアップを支援！スキルを高めたり、専門性を磨いたりするための認定制度を用意しています。

業務中の万が一の事故も保険でサポート！

日本栄養士会会員は会費を納入すれば「栄養士賠償責任保険」に全員自動加入！万が一の事故に備えられます（最大1億円の保証金額）。

日本栄養士会のホームページのマイページから年会費の支払いをクレジットカード支払いに変更できます。

コンビニ支払いの手間がかからず、ハガキの有効期限も気にせず会費の納入忘れもなくなります。

公益社団法人 福井県栄養士会 月・火・木・金 9:30~16:30 / Tel・Fax 0776 (27) 5999 / 〆 fukuei@nifty.com
事務所：〒910-0004 福井市宝永3丁目 10-16 共栄レジデンス1F

栄養ふくい 第15号
(令和8年3月)

■ 編集 / (公社) 福井県栄養士会 情報コミュニケーション事業部 (石塚雅章, 黒羽根 七海, 林恵子)
■ 印刷 / イトー印刷。